

松陰先生の「志」を未来に伝えたい

松陰神社宝物殿 至誠館

松陰先生と松下村塾のすべてがわかる

宝物と宝物殿

松陰先生をおまつりする松陰神社には、松陰先生に関する貴重な遺品・遺墨等の宝物が多数伝えられています。これら宝物を大切に保存し、松陰先生の「志」を次の世代に引き継ぐために、松陰先生没後150年にあたる平成21年10月27日に宝物殿を開館します。

松陰先生の思想は人間観、国家観、教育観、死生観など多岐にわたり、時代を超えて人々の心を揺り動かします。

これらの宝物を通して、松陰先生の「志」がさらに広がっていくよう、心より願っております。



松陰神社宝物殿 至誠館

〒758-0011 山口県萩市椿東1537
TEL: 0838-24-1027 FAX: 0838-24-1028
e-mail: hiji-chomoku@haginet.ne.jp

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日 年中無休

入館料 一般 500(400)円 中・高生 250(200)円
小学生 100(80)円 ※（ ）内は20人以上の団体料金

吉田松陰先生の生涯

吉田松陰先生は、天保元年(1830)萩藩の下級武士の家に生まれました。幼い頃より兵学と経学の厳しい教育を受け、10歳から藩校に出仕し、19歳で独立師範となりました。

幕末、外国の脅威を体感した松陰先生は安政元年(1854)25歳の時、海外渡航を試みました。その試みは失敗し、江戸伝馬町の獄に投獄された後、萩の野山獄に送られました。獄中では膨大な量の書物を読むだけでなく、囚人や看守へ講義するようになりました。講義は杉家幽囚生活でも続き、さらにはそれが松下村塾へと発展していきました。この頃から松陰先生の愛国の情は徐々に激しさを増し、「安政の大獄」により江戸の獄へ送られ、安政6年(1859)10月27日、30歳の若さで生涯を終えました。

しかしその後も松陰先生の「志」は途絶えることなく塾生達へと受け継がれ、明治維新そして近代国家成立への大きな原動力となったのです。

交通案内



自家用車でお越しの方には、境内と神社前の交通公園に無料駐車場があります。



世界文化遺産登録決定